【令和8年度　コミュニティ・スクール太宰府西小学校　校長通信】　No. 6 （R 8 .10.28）

まほろばの丘から

［文責］
校長　江頭　雄一郎

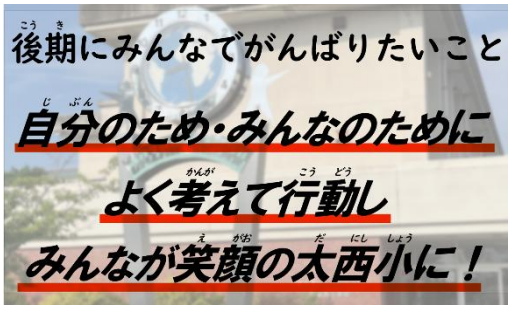
変わりゆく季節を感じて

朝、地域のごみ拾いをしながら季節の変化を実感しています。鳥の鳴き声、花の種類、樹木の葉の色、虫の鳴き声、風の冷たさ、等々。

後期の学校生活がスタートして、あっという間に２週間が経ちました。変わりゆく季節と共に、子どもたちの意識や行動も大きく変化（成長）し、さらに笑顔いっぱいの太宰府西小学校になればと願っています。

後期の始業式では、私からは「自分のため・みんなのためによく考えて行動し、みんなが笑顔の太宰府西小学校にしていきましょう！」と伝え、関主幹からは前期の学年ごとの「だにしっこ（**だ**まってそうじ・**に**っこりあいさつ・**しっ**かり学習・**こ**ころをつなぐ言葉）」の成果を提示してもらい、それぞれの後期の目標を新たにする時間を設けました。

後期も子どもたちの笑顔のために、保護者の皆さま・地域の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。





学びを深めた修学旅行

先週の木曜日（10/22）・金曜日（10/23）に、６年生が修学旅行に行きました。

前期の後半から活動の準備や平和についての学習を進め、当日は、長崎の地で戦争や原爆の恐ろしさや平和の大切さを深く学び、友だちとの活動を通して協力することの大切さを実感したことと思います。そんな貴重な二日間のために色んな準備をしていただきました保護者の皆さまに、深くお礼を申し上げます。

大切なのはこれからです。修学旅行を終えて、その学びをどれだけ自分の生活や行動につなげていくかが大切です。「修学旅行が終わったから全て終了」ではなく、これからの「新たな自分のスタート」になるよう、この二日間の学びや経験を自分のために、仲間のために、そして地域のために大いに発揮してくれることを心から願っています。

明日からは、５年生が自然教室（夜須高原）に行きます。子どもたちの頑張り等については、11 月号で紹介させていただく予定です。

